

Pickup! 特別版 祝 第20回 国境マラソンIN対馬



日本一過酷(?)なマラソン大会

7月3日、上対馬町の三宇田浜海水浴場前を発着点とした「第20回国境マラソン in 対馬」が開催されました。開会式では比田勝小6年の石丸功典くんが選手宣誓を行い、また、航空自衛隊のT4練習機3機が展示飛行を行いました。

今年で20回を迎えたこの大会は、過去最多の1416名（韓国295名・市外521名・市内600名）がエントリーし、初夏の対馬路を汗だくになりながら疾走しました。

各種目の1位は以下の通りです。

(敬称略)

種目	氏名	県名	記録	種目	氏名	県名	記録
ハーフ一般男子39歳以下	古賀 慶彦	佐賀県	1:17:28	5.4km一般女子	岡田 佳代子	対馬市	0:33:57
ハーフ一般男子40歳代	飯田 恵夢	東京都	1:24:10	3km中学生男子	細井 大介	対馬市	0:10:26
ハーフ一般男子50歳代	小田原 雅己	福岡県	1:27:19	3km中学生女子	横山 彩	福岡県	0:11:42
ハーフ一般男子60歳以上	内山 徳博	対馬市	1:29:06	ウォーキング一般男女	TAK JONG YOUNG	海外	0:32:14
ハーフ一般女子	綾部 しのぶ	東京都	1:24:44	2km小学4年生男子	田村 良太	対馬市	0:07:39
10km一般男子39歳以下	宮原 和馬	対馬市	0:32:54	2km小学4年生女子	大浦 芽良	対馬市	0:08:31
10km一般男子40歳以上	BAEK JEONG YEOL	海外	0:36:01	2km小学5年生女子	扇 七帆	対馬市	0:08:01
5.4km一般男子39歳以下	田嶋 優気	福岡県	0:20:42	2km小学6年生男子	須川 大雅	対馬市	0:07:21
5.4km一般男子40歳以上	村瀬 康展	対馬市	0:21:56	2km小学6年生女子	居村 祐佳	対馬市	0:07:21



中学生男子(3km)1位の細井大介君



一般男子39歳以下で優勝した古賀慶彦さん(佐賀県)



選手宣誓をする石丸君



世界にはばたく「対馬のDNA」!

競泳の松本弥生選手。

リオデジヤネイロ五輪へ

初の南米開催となったりオデジヤネイロ五輪。広報つしま8月号が皆さんのお手元に届くころには、競技も終盤を迎えていることでしょう。

そんな中、対馬に縁のある一人の女性アスリートが、トビウオジャパンの一員としてロンドン五輪に続き、競泳に出場していたのをご存じですか？

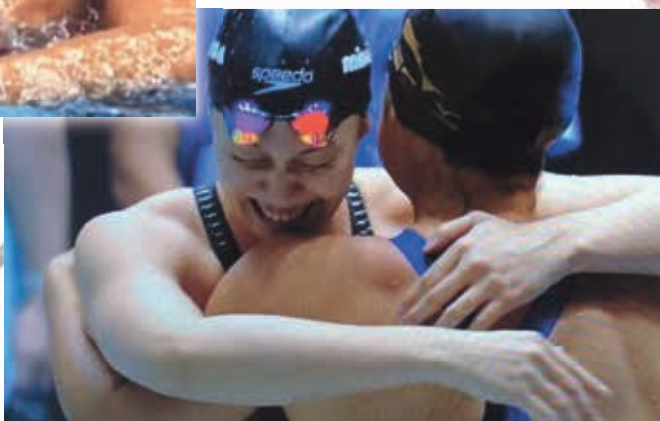
彼女の名前は松本弥生さん。お父さんが厳原町久和の出身で、彼女自身も毎年のように対馬に訪れ、島の暮らしを楽しんでいるそうです。

水泳との出会いやリオデジヤネイロ五輪にかける思い、そして対馬の事などリオデジヤネイロに旅立つ直前の松本さんが快くインタビューに応じてくださいました。



リオ五輪出場を決めたレース (左: 松本選手)

写真: 松本選手のフェイスブックより



競泳日本代表（ミキハウス所属）

リオ五輪 50m自由形

100m×4フリーリレー出場

静岡県出身 静岡県立飛龍高校卒

日本体育大学・大学院卒

2014年～ミキハウス入社

- 水泳を始めたきっかけは、姉が英会話を、母方の親戚が水泳をしていて、どちらが良いかと母に聞かれ「スイミングへ行きたい」といったこと。
- 尊敬する人は、両親。尊敬するアスリートは、世界を舞台に戦う仲間たち。



松本弥生さん（26歳）

Q 対馬にはよく来られているそうですね

生まれた場所は静岡県沼津市ですが、父の実家が久和にあり、子どもの頃はよく対馬へ遊びに行っていました。かなりのおじいちゃんっ子で、祖父の後をついて回り、船で洞窟の中へ行ったり、家の前の浜辺でパーベキューをしたり、いとことケンカをしたり…。対馬の好きなのは、時間の流れがともゆっくりしているところですね。なので、帰省した時は、水泳の事はもちろん、全ての悩みを一切忘れ、祖母の家でのんびり過ごしていますが、毎日のように島の方が顔を見に来てくださいるので、いつもにぎやかです。

夜は海から家に這い上がってくるフナムシとの戦いを毎晩しています。怖いです（笑）

ツシマヤマネコの福馬くんに会いに行ったり、昨年は出世の泉へ行こうと内院から船渡して神崎灯台まで登りましたが、あまりにも険しい道だったので、出世する事を諦めました。グルメはやっぱり、祖母が作るアラ鍋！それと、とんちゃん！あとは東京へ帰る時のお土産に買うかすまき。だいたい帰りのフェリーの中で食べてしまいますが。

Q ロンドン五輪の思い出や2大会連続出場への意気込み

1回目のロンドン五輪では、4×100mフリーリレーで4年振りの

決勝進出を果たし、7位という結果でした。とにかく毎日ドラマのようなレースばかりで思い出に残っています。その中でも、特に競泳陣のチーム力の高さを象徴する、松田丈志選手の「北島康介さんを手ぶらで帰らせるわけにはいかない」や、入江陵介選手の「27人で繋いだリレー」という言葉は印象に残っています。

今回は、それ以上の順位を、そしてメダル争いをしたいと思っています。五輪を経験できる事は自分の誇りであり、特別な事だと思っています。その舞台に立てる喜びをかみしめて泳ぎます。（この記事が出る頃には結果がでていますが）メダルをお土産に対馬へ帰りたいですね。

Q オリンピック以外で特に記憶に残るレース

初めて全国制覇をした高校2年生のインターハイです。もう一つ記憶に残っているのは、高校3年生の時、佐賀県でインターハイがあり、対馬から祖母が応援に駆けつけてくれましたが、3位に終わってしまったことです。ばあちゃん、あの時はごめんね！

Q オリンピックを意識し始めたのは

中学生の時です。当時は全国大会に出た事もなく何の根拠もありませんでしたが、オリンピックに行くかと思っていました。最初のチャンスは2008年の北京五輪。しかし代

表選考会では惨敗に終わり、コーチから「本当に五輪に出たいと思ったやつが行けるんだ」と言われ、そこからは代表になる事だけを意識して、辛い練習を乗り越え、翌年の2009年から現在まで、代表の座を守ってきました。

大学時代は、とにかく水泳漬けの毎日でした。合宿や遠征で一度も授業に出られなかったり、久しぶりに行った授業がテストだったり勉強面では苦労しましたが、水泳部の友人がノートを取ってくれたり、レポートを手伝ってくれたおかげで、卒業単位以上の単位を取得し、大学も無事に卒業することができました。

Q夢を実現するために大切なこと

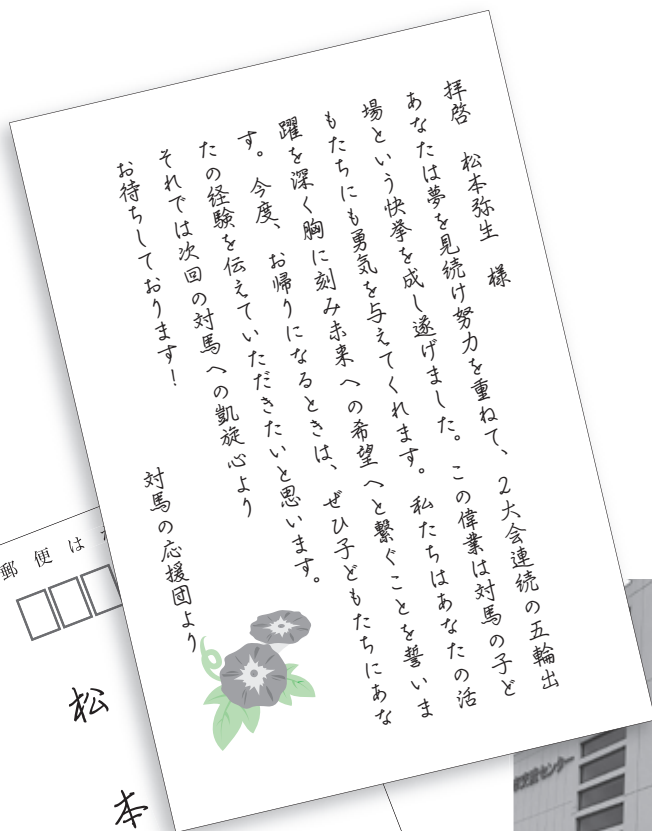
自分の夢だけをどんな時も常に考えること。そして、自分の夢は、自分だけの夢ではない事を理解すること。自分が出した結果で、たくさんの人が喜んでる姿を想像したら、自然と頑張れると思います。対馬からたくさんの方が活躍し、島中をワクワクさせてくれることを願っています！

座右の銘は「その一瞬には 一生を賭ける価値がある」言葉の通り、レースは一瞬で終わってしまいます。しかし、勝った時の喜びは、他の何にも変えられません。これまで、たくさんの事を犠牲にし、たくさんの努力をし、たくさんの我慢をしましたが、ほんの一握りの人にか

経験出来ないこの一瞬には、一生を賭ける価値があると思います。

Q対馬の応援団に一言

まさか、よく買い物に行くティアラに垂れ幕を作っていただけなんって。本当に対馬の皆様の温かさ、ただただ感謝しています。そしてこんな温かなご声援をいただけるのもこの島で育った父のおかげです。わたしは、どちらかと言うと父方の祖父に顔がそっくりと言われるので、対馬のDNAはかなり濃い方だと思っています。松本家の「孫娘」を応援いただきありがとうございます。



市役所と対馬市交流センターに掲げられた応援幕



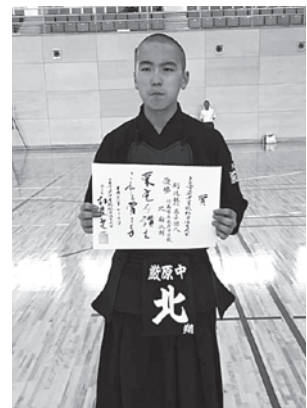
湯多里ランドつしま スイミングスクールの子ども達

Pickup!① 対馬っ子「躍進」!

7月23日から開催された長崎県中総体において、下記の好成績を修めた対馬っ子が8月上旬に開催される九州大会に出場します!

また、剣道男子個人で優勝した北翔太朗くん(厳原中)は、8月19日から長野県で開催される全国大会への出場も決定しており、日本一に挑みます。

剣道男子個人	優勝		北翔太朗くん(厳原中)
男子共通砲丸投	1位	11m53	三好空依くん(久田中)
女子1年800m	1位	2:22.20	黒岩咲良さん(雞知中)
女子共通砲丸投	1位	12m08	永井 幸さん(雞知中)
男子共通棒高跳	2位	3m10	勝見昂哉くん(雞知中)
女子2年800m	2位	2:24.63	阿比留萌愛さん(雞知中)



剣道個人で優勝した北くん

「躍動」対馬のアスリート!

Pickup!②

7月17日、悪天候で延期となっていた「第62回対馬島民体育大会陸上競技大会」が峰総合運動公園陸上競技場で行われました。日頃の練習の成果を思う存分発揮し、4つの大会新記録と1つの大会タイ記録が出ました(主な結果は以下の通りです)。



団体結果

男子	女子	総合
1位 厳原町	1位 厳原町	1位 厳原町
2位 美津島町	2位 峰町	2位 美津島町
3位 豊玉町	3位 豊玉町	3位 峰町

大会新記録

(敬称略)

	種目	選手(所属)	記録
男子	E走幅跳	松村 晋弥(厳原)	5m15
	F走幅跳	阿比留 義範(豊玉)	4m23
	F砲丸投	永留 泉(峰)	10m56
	高砲丸投	早田 楓真(厳原)	12m44

大会タイ記録

(敬称略)

男子	E 100m	松村 晋弥(厳原)	12秒8
----	--------	-----------	------

Pickup!③ 人とヤマネコが共存できる島を目指して

7月7日、我が国に2種しかいないヤマネコが生息する沖縄県竹富町と対馬市との間で「友好都市協定」を締結しました。

今後は、自然環境保全を中心に教育・文化・産業など様々な連携・交流を促進していきます。

※ヤマネコが友好都市を取り持つ縁の基礎となっていることから、環境省の亀澤玲治自然環境局長に協定締結の立会いをしていただきました。



写真左から：堀江議長・比田勝市長・亀澤局長(環境省)・川満竹富町長